



校報 あずまね

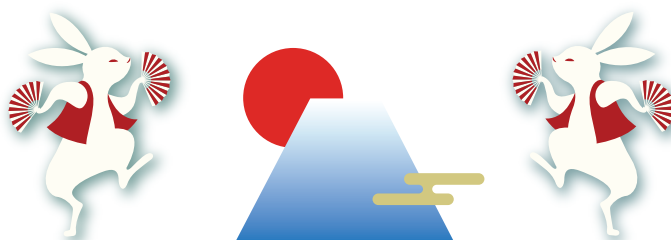
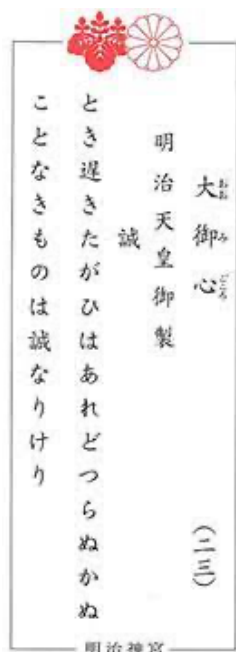
時間啄啼

<https://shiwa3.chu.jp>

文責 佐藤智一

「新年のご挨拶」

明治神宮の「おみくじ」は、「大御心：おおみごころ」として和歌になっています。私がひいた番号は 23 番。2023 年に重なる数字でした。その和歌の意味は、「物事を為し遂げるまでには、人によって早い遅いの違いはあっても、どんな時でも誠実な心さえあれば、その志を貫き通すことが出来る。誠から出発したことは、必ず成し遂げられる。」というものです。新たな年に子どもたち一人ひとりが立てた「志」が成し遂げられるよう、「誠」の心をもって支えて参りたいと思います。今年もどうぞよろしくお願ひします。



「三学期始業式 式辞」

16日間の冬休みの間、それぞれの家庭で年を越し、新たな年をめでたく迎えたことと思います。それぞれの心には、新たな目標や決意が立てられたでしょうか。

今日から始まる3学期は、春の卒業・進級へと向かう時期です。4月には新たなステージに立つことになる皆さんには、ステップアップのための準備を、特に心の準備をしっかりと進めて欲しいと思います。

その具体目標の一つは、自分が何をどうしたいか、それはなぜかを自分の言葉で人に伝えられるようになることです。これまでの経験を踏まえ、自分という人間をどのように成長させていきたいのか。他者との関係をどのようにしていきたいのか。この先の一年、更にはその先をどのように切り開いていきたいのか。そんなことを自分で考え、自分で決めて日々歩いていく。子供から大人への変わり目にある皆さんには、それができる心が育ってきているはずで

もう一つは、よりよい人間関係をつくることです。自分にも相手にも誠実に接し、飾らず率直に思いを伝え、相手を見下さず対等に付き合い、相手も自分も責めないこと。そして自分の言ったことや言わなかったこと、やったことややらなかったことに責任を持つことです。そうやって、他の人と「分かり合いたい」、「理解し合いたい」、「一緒に問題解決をしていきたい」という希望や願いを膨らませて行って欲しいと思います。

こうした心の準備が、この春進級する1・2年生、高校に進学する3年生の今後の生き方を支えていくのだと思います。まだまだ寒い冬は続きますが、春の芽吹きを待つ植物のように着実に毎日の営みを重ね、心のつぼみを膨らませていくことを期待しています。

この3学期も誠実に学校生活を送っていきましょう。